

スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)	「技を磨き、地域社会に貢献できる工業人材を育成する学校」 生徒の関心に応じて専門分野を選択できる得意技コース制や、ものづくりを通じた教育の充実により、 確かな工業技術を身に付け、地域の産業や社会に貢献できる人材を育成します。	
	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)	グラデュエーション・ポリシー ○浮エチレン・ジャーズを合言葉に、何事に対しても積極的に挑戦する態度を育む。 ○あいさつ5S活動を通して、気持ちの良い挨拶、社会人としての礼儀作法を身に付ける。 ○地域を愛し、積極的に地域貢献しようとする人材の育成
	スクール・ポリシー (三つの方針)	カリキュラム・ポリシー ○生徒が希望する資格や技術を習得し、進路を実現するための「得意技コース制」の充実 ○地元企業への工場見学・インターンシップの実施など、地域と連携したキャリア教育の推進 ○地域貢献の精神を育成するための「テクノボランティア」の実施 ○習熟度別・少人数指導、ICT機器の活用など、きめ細かな授業の展開
	アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)	アドミッション・ポリシー ○ものづくりに興味がある人 ○資格や技術を身に付けて自らの進路を見つきたいと思っている人 ○何事も粘り強く取り組むことができる人 ○人と協力して積極的に取り組む姿勢を持っている人 ○学校行事や部活動にも積極的に取り組むことができる人

学校運営計画(4月)

学校運営方針	日本国憲法、教育基本法に則し、自律心や創造性を培い、心豊かで責任感あふれ、自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、地域社会に貢献できる工業人の育成に努める。		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	A
本校は、創立118年目の歴史と伝統を誇る県下でも屈指の工業高校である。就職率100%、 四年生大学進学者等を含め就職・進学ともに安定した進路実績がある。このことは、工業教育を永年にわたり実践してきた歴代校長以下、本校職員の実践が実功、かつ有為な社会人として卒業生が活躍してきたことの賜物である。全学科得意技コース制の積極的運用を通じ、地域社会に貢献できる工業人育成を学校作りに通じていく。 「時を守り、場を清め、礼を尊ぶ」浮エチャレンジーズ」を合言葉に生徒と教師が一致団結し何事にも挑戦し続ける校風をさらに醸成すること、あいさつ5S活動に取り組め、(時を守り、場を清め、礼を尊ぶ)の徹底を図り、地域から愛され必要とされる人材を育成する学校作りに通じていく。	キャリア教育の充実と得意技コース制の活性化を図り、就職率100%の維持と進路内容の充実を図る。	・充実した授業(ICT機器の活用・AI)を展開することで、生徒の基礎学力・技能の養成に努める。 ・キャリア教育を充実させ、向上心に溢れ、高い志を持つ生徒の育成を行う。 ・資格取得や基礎学力の育成のため、指導体制を強化する。	
	テクノボランティア(実習の成果を生かした地域貢献・社会貢献活動)の拡充を図る。	・「ものづくり教室」や課題研究・文化祭等のテクノボランティアで確実な成果を上げる。 ・「テクノボランティア」活動の活発化と、地域との連携を深め、その内容の充実を図る。	
	ものづくりを通して人づくりを推進する。	・ものづくり部の指導体制の確立と活動の充実を図る。 ・ものづくりは人づくりの観点から、挨拶指導や身だしなみ指導等を徹底する。	
	広報活動を充実させ、地域に信頼される学校づくりを行う。	・幅広い人づくりを推進するため、部活動を活性化させる。 ・教員がしなやかな人権感覚をもち、道徳心やいじめ撲滅等に向けた人間力の育成を行う。 ・工業高校らしい特色ある教育活動の実施において、広報活動の強化・充実を図る。	
		・テクノボランティアとともに地域貢献活動の推進(柔軟な生徒派遣)を行う。	
		・ホームページやSNS等、中学校訪問の充実を図るとともに、戦略的展開における広報活動を実施する。	

自己評価					学校関係者評価	
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等	評価(3月)	結果の考察と次年度の課題	項目ごとの評価 学校関係者評価委員会からの意見
教科指導	主体的・対話的で深い学びが達成できる授業の拡充	ICT機器を効果的に活用し、わかる授業を展開する。 生徒自ら課題を設定し、解決に向かう活動を推進する。 新教育課程に則した授業計画の改善を図り、生徒の授業満足度を向上させる。	<学期末授業アンケート> ・授業中に自分で考える時間があがる95% ・ICTを使った授業のわかりやすさは普通以上である80%	A	・授業について、ICTを活用した授業を増やし、視覚的聴覚的なわかりやすさの改善が進んだことに加え、生徒同士が話し合い、自ら考えることに重点を置く授業への移行を進めることができた。今後、対話的で主体的な深い学びを実現できるように、授業の評価制度の見直しも含め改善していく。 ・学習環境について設備の拡充が今年も行われた。今後も最新の設備を使った授業が行えるように整備をしていく。授業規律について一部授業で上手く進まない状況があったので、調査及び改善を行った。今後も、よりわかりやすい授業運営がされるように管理をしていく。 ・授業以外の補講等について、抜本的に見直し、新しい年間計画が全面できたので、次年度の実施に向けて進めていく。 ・教員に関する規定について、福岡県内の高校の情報を収集するとともに、最新かつ実態に則した規定ができたので、次年度の実施に向けて進めていく。	A
	授業環境と教務規定等の整備	各教科・担任・保護者との協力体制を築き、情報の取得と共有をする。 各教科・担任・保護者との協力体制を築き、情報の取得と共有をする。	<学校満足度アンケート> ・教育環境が充実している90%	A		
	地域社会に貢献できる工業人材の育成	考査前学習会の改定を行い、クラスで対話的に学習し合う環境を作る。 「ものづくり」や「テクノボランティア」を通して、地域貢献できる人材を育む。 生徒の実態に応じて、最適な学習支援を行う。	<学期末授業アンケート> ・ペアやグループで話し合う機会がある84% ・授業の理解度は普通以上である80%	A		
	全職員でいじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む	学校いじめ防止基本方針を共通理解し、いじめの起こりにくい環境づくりに努める。 学校生活アンケート等を実施し、生徒情報を共有し、全職員で適切な支援を行う。 生徒指導部通信を発行し、生徒だけではなく保護者に対しても情報の提供や注意喚起を促す取り組みを行い、家庭との連携を高める。	<学校生活アンケート(いじめアンケート)> あなたは前回のアンケート以降、いじめを受けたことがある。生徒 0.3% あなたは前回のアンケート以降、他の人からいじめられているのを見たことがある。生徒 0.16%	A		
生徒指導	基本的生活習慣の確立と規範意識を育む。	挨拶指導や身だしなみ指導を実施し、端正な服装と自律性ある態度を育成する。 校内の巡回指導を実施して生徒の実態を把握し、学年や学科と連携して規範意識を高める。 専門的知識を有する外部人材を活用した講演会を実施し、生徒が学習できる機会を設定する。	<講演会実施後保護者アンケート> ・講演会の内容に満足している。100% ・生徒の禮儀の使い方やインターネットの関わり方は適切だと感じる。0%	A	・いじめに関して年度当初より生徒及び保護者に対し、見守りの強化、相談窓口の周知徹底などあらゆる機会や生徒指導通信で呼びかけ、発信することができた。この甲斐もあり安心安全に学校生活を過ごすことができる雰囲気醸成やいじめの予防を見逃さない支援・指導の充実につながった。次年度も未然防止に努める取り組みを継続して行っていく。 ・学校満足度アンケートにて校則が厳しいという回答が多く、現行の校則と生徒の実態や世間・時代の流れ、他校の状況等を念頭に比較しながら、校則見直しが必要であることが明らかになった。次年度は、生徒会役員や各種委員会の代表など協議をし、校則改定に向けた動きを本格始動する必要がある。	A
	交通安全教育の充実と改善を図る。	定期的に通学に交通に関する集会を実施し、交通安全に対する意識向上に努める。 通学で使用している自転車やバイクの定期的な点検を行う。 自動車学校や警察などの外部機関と連携し、交通安全に関する情報や資料を生徒に提供する。	<学校満足度アンケート> ・本校の校風は厳しいと思う。生徒 1年85% 2年83.9% 3年84.8%	B		
	進路実現のための職業観・勤労観の育成	一年次よりガイダンスや継続的なコース希望調査を用いて、進路への意識付けを行う。 工場見学やインターンシップにより実際の現場を経験させる。 各学年間と連携を図りながら、それぞれの学年に応じた体系的な指導を行う。	<工場見学やインターンシップは進路を決定するための役に立った。 82%	A		
	基礎学力の定着および社会人としての態度の育成	対外的な模試等を実施し、学力を客観的に考察させることにより学習意欲を喚起する。 普通教科、専門教科と連携し、生徒の満足度を高める。 就職試験や大学入試の傾向を分析し、生徒に情報を提供することで基礎学力の重要性を認識させる。	就職・進学のために、基礎学力は重要だと思う。94%	B		
進路指導	キャリアプランニングの一環として、資格取得に対する意欲の涵養	キャリアパスポートを用い学校生活全般を振り返ることで、自分の役割の価値を認識し、生き方を意識させる。 自己の進路を実現するための手段の一つとして、資格取得に対する意欲の向上を図る。 実習、課題研究を通じ、様々な課題を発見、分析し、解決する能力を育成する。	進路実現するために資格を取得することが大切だと思う。96%	B	・第一希望で就職が内定した生徒の割合が88%、進学は95%であった。この成果は3学年の先生を中心に学校全体で進路指導に取り組んだためだと考えている。次年度以降も、学校全体で生徒の希望進路の実現のために生徒の興味・関心や適性を把握し、適切な進路指導を行っていく。 ・公務員希望者に対して多くの情報を提供していくとともに、できるだけ早い段階から試験対策を行うことで合格率アップに繋げていく。 ・あいさつ5S運動を徹底することで、社会人として必要なマナーや規律を身に付けさせ生徒の進路意識の高揚に努める。	A
				A		
				A		

総務企画	学校各種行事を円滑に遂行する。	式典や各種行事等において、各部署と協力、連携し、職員への周知、情報共有を行う。	・各校満足度アンケート結果 3年保護者 18項目、今年度年次22項目で実施 3年保護者・入学して良かったか：良かった 97% 生徒：入学して良かったか：良かった 83%～87%	A	A	A	・各種学校行事が、滞りなく実施できるよう各部署との連携や情報交換を意にを行う。 ・創立120周年記念行事に向けての準備を進めるとともに同窓会・PTAとの連携を図る。 ・PTA行事の精選や組織の見直しを行い、行事の充実を行うとともに保護者への負担を少なくする。 ・広報課と連携しながら、浮羽工業の良さと工業高校の魅力を伝え、志願者増につなげる。 ・総務企画内の業務内容の共有化を行い、業務の効率化を行う。	A	創立120周年に向けた各行事の設定をよりお願いしたい。 また、広報活動ではホームページやインスタグラム等を活用した情報発信に取り組んでいた中学生の興味を引いているように思われる。次年度も広報活動に力を入れて生徒募集に繋げていきたい。
		PTA行事等への保護者への呼びかけを積極的に行い、理解や協力を得る。PTA行事について内容の精選を行う。	・PTA懇談会保護者アンケート たいへん良かった(23%)良かった(77%) ・PTA委員会投票率アンケート 投票率 大満足だった(22%)良かった(68%) PTA総会 大満足だった(22%)良かった(33%)	B					
		公開する学校行事を通して地域との良好な関係を築く。		A					
		学校行事を通して、同窓会、教育振興会との連携を築く。		A					
広 報	地域や中学校に向けて広報活動を戦略的に展開する。	中学校や塾への広報活動を年間を通じて定期的・効果的に行う。		A	A	A	・HPやInstagram更新で本校の魅力を発信することはできたが、動画の発信までには至らなかった。動画の発信は、各科や各部の協力ができないと考えているので、もっと連携を図ってきたい。 ・中学校での進路説明会においては一定の評価を各中学校から頂いた。もっと説明会の機会を得るような働きかけをしていきたい(特に久留米地区【第8学区】)。 ・ものづくりに触れ合う機会が少なくなってきた中学生に対し、どのようにものづくりの魅力を伝えるかを企画していく。	A	総務企画と連携を行っていただき次年度も本校の魅力を発信し続けてほしい。出前授業等も中学校側から好評ということで次年度も継続して取り組んでいた。
		中学校や新入生から意欲的に情報収集を行うとともに、各学科・部活動顧問等と情報共有、共通認識を図る。	・田丸中学校出前授業アンケート ものづくりの楽しさや達成感を味わうことができた。 部活生の皆さんが楽しそうに楽しんでいた。くれたので体験入学に参加してみたいと思いました。	A					
		SNSを駆使し、情報発信の幅を広げるとともに、動画等で本校の魅力がわかりやすく伝わるよう努める。		B					
		体験入学を通じて、中学生や保護者へのものづくりや本校の魅力を伝える計画・内容の向上に努める。	・体験入学アンケート 進路決定の参考にしたいと思った98% 自分の体験したことのないことで沢山知りえた。 とてもわかりやすく学ぶことができた。	A					
研 修	働きやすい環境をつくるための職員のニーズに即した研修の企画運営を行う。	コース制、各科の内容、進路実績などをわかりやすく伝える。		A	A	A	・来年度も職員のニーズに応えながら職員が抱える校内外の諸課題を解決できる内容を企画していく。 ・教育センターをはじめとする外部の研修について積極的に案内をし、多くの職員が参加できるように働きかける。 ・授業参観月間・研究授業月間を引き続き設定し、職員が切磋琢磨しながらより良い授業構築ができる環境を整える。	A	次年度も生徒のために職員研修の充実と先生方の資質、授業力向上のために、日々研鑽に励んでいただきたい。
		高校説明会においての説明内容をさらにブラッシュアップし、中学生にとって気になる学校の1つになるよう努める。		A					
		職員の要望に応え、職務の遂行に役立つ校内研修を行う。	職員研修に参加してよかった100%	B					
		職員が学び続けることができる働きやすい環境をつくるための研修を行う。	職員が働きやすい環境の推進を図ることができた。	B					
教育情報	ICT機器を活用した効果的な授業の推進	Chromebookの活用を推進し、学習効果を高める。		B	B	A	・Chromebookを活用する場合は増加してきている。教科での活用が増えるようICTの活用事例等を発信していく。 ・改築工事によるネットワーク構成の変更では、大きなトラブルもなく対応できた。次年度も改築工事が続くので、いち早く対応できるスキルアップに努める。	A	近年社会問題となっている携帯電話等のSNS上の問題において、SNS等におけるマナー教室の開催なども含めて次年度以降も継続して取り組んでいた。
		ICT機器の管理を徹底し、トラブルへの迅速な対応を行う。	クロムブックの活用状況は週3日程度と答えた生徒が多く、その効果は、学習内容に興味がわきやすい、問題や課題に取り組みやすい、学習が楽しいなどの回答が多かったが、活用頻度は教員による差が大きかった。	A					
		ICT支援員と連携し、ICTを活用した学びを積極的にサポートする。		B					
		ネットワークセキュリティを確保し、情報漏洩防止に努める。	既存データの整理整備の推進を図ることができた。	B					
保 健	全職員と連携した保健業務を行い、生徒の心身の健康維持を図る。	各分掌と連携し既存データの整理・整備を図る。		A	A	A	・セルフチェックに加えて「SOSの出し方講演会事後アンケート」の結果から、生徒が自己を振り返る機会を通して相談できるきっかけづくりになったことがわかる。また、職員研修では事例検討を行い、手法や連携の取り方を考える一助となった。職員や校外の機関と連携しながら生徒の課題に対応するために、継続して調査や研修などの情報提供を行う必要がある。 ・美化コンクールは回数を選ぶごとに掃除への意識が高まり、取り組みが向上したことがわかる。一方、人数の配分や汚れの落ちにくさなどの課題の生徒から挙げられた。各クラスへ還元して、掃除場所の応じた人数配置を依頼したり、道具の補充を行う必要がある。	A	多様な子どもたちへの個に応じた対応をしていただいている。次年度も引き続き生徒が困り感を抱いたときに相談できる体制づくりをお願いしたい。
		各分掌と連携し、校務支援システムのスムーズな運用体制を築く。		B					
		保健室を利用する生徒へ適切に対応し、担任や学年等との連携に努める。	この調査を終えて、あなたは自分のことを理解できたと思いますか？ はい 82.6%	A					
		生徒の自己を振り返る機会を設けて、年2回のセルフチェックを行い、自己理解の深化を把握するとともに日頃の教育活動に役立てる。		A					
図 書	図書館の環境整備を行い、生徒の読書活動を支援する。	外部講師を積極的に招聘し、職員が積極的に参加できる研修を企画する。		B	B	A	・改築された新しい図書館の環境整備を進め、生徒の利用を促すことでの本の貸出数を増やすとともに、「朝の読書」を充実させる。 ・図書委員会の活動を活性化させ、読書週間や文化祭において独自の企画を展開するなど図書委員会の取組みを深化させる。 ・11月実施予定の芸術鑑賞教室を、総務企画課と連携しながら成功させる。	A	本を読む習慣がない生徒たちに、読書に興味を持てるような工夫をさせていただきたい。さらに、改築された図書館の活用促進を図っていただきたい。
		1学期(6月)に授業参観月間、2学期(11月)に研究授業月間を設定する。	美化コンクールを通して、①掃除への意識がとても向上した。 7月：29.0%→10月：38.9% 2学期に読書週間を行った。 7月：40.6%→10月：42.9%	B					
		ICT研修等を通して、授業改善に資する研修を行う。		A					
		キャリアアップ講座等外部研修の受講幹進を推進する。		A					
生徒会指導	自治的活動の活性化を図り、充実した学校行事を実施する。	図書委員会の活動を活性化させ、生徒の読書活動をさらに活発にする。	学校の図書館を利用していますか よく利用している53% まったく利用していない16%	A	A	A	・体育祭は、生徒ひとりひとりが、役割を自覚し、成功へと協力する姿が見受けられた。それにより、高い充実感・達成感が得られていると感じている。次年度は、より生徒のアンケートを反映しながら、満足度を上げていきたい。 ・文化祭は、各クラス等の集団により良い観覧物をつくるために協力する姿があり充実感・達成感に繋がっていると感じている。次年度は、来場者数を更に向上させ、地域注目度を上げていきたい。 ・部活動に関するアンケートを生徒・職員ともに実施した。結果を踏まえ、次年度の部活動内容や編成に反映させていきたい。	A	生徒のための学校行事でもあるのでアンケートを取って生徒の意見も取り入れながら満足度を上げていただきたい。また、活気ある学校生活に向けて部活動の活性化にも励んでいた。
		「朝の読書」や「芸術鑑賞教室」を充実させ、生徒の感性を豊かにする取り組みを行う。	朝の読書について感じていること 自分では読まないけどい機会29% ものが読みたいよ100%	A					
		生徒会・リーダーが、主体的な行事運営を行うことで生徒会活動の活性化を図る。	体育祭の充実感・達成感 10段階中10の生徒36% 文化祭の充実感・達成感 10段階中10の生徒38%	A					
		生徒一人ひとりが生徒会の一員であることを見直し、それぞれの立場で役割を果たす態度を養う。	運動部モチベーション平均値 10段階評価6.5 文化部モチベーション平均値 文化評価6.5	A					
第1学年	基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る	部活動に対する生徒の意識調査を実施し、現状把握を行う。		A	A	A	基礎学力の定着及び学力の向上に関しては学校満足度アンケートでは90%近く学力や技能が身につくことができたことと解答しているが、まだ定着までには至っていない生徒がいる。引き続き基礎学力の定着を図ってきたい。挨拶をする生徒は増えたと感じられるが十分であるとは思っていない。今後も自ら率先して挨拶してくれる生徒が増えるように指導をしていきたい。また、学校のルールを十分に把握させるとともに今後の学校生活が充実できるように学年集会などの時間を活用して説明していきたい。	A	入学してから1年間で多くの事を身に付けたと思う。基礎学力を定着させることと基本的な生活習慣の確立は社会人になるにあたり必要不可欠な要素であると思う。1年時からパソコンと経験感を積み上げていくことである。今後に期待している。
		部活動に対する職員の意識調査を実施し、現状把握を行う。	部活動に対する生徒の意識調査を実施し、現状把握を行う。	A					
		部活動に対する生徒の意識調査を実施し、現状把握を行う。		A					
		部活動に対する生徒の意識調査を実施し、現状把握を行う。		B					
第2学年	基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る	学習指導要領を踏まえて、各コースについての理解度を深めることで個人の進路への意識を高める。	学校満足度アンケートで教育環境は充実していると思いますか？ 1学年88%	A	A	A	・インターンシップ及び修学旅行など学年の行事については、事前事後指導も学年で協力して実施できた。特にインターンシップは各事業所での体験活動を通して、進路選択の参考にできた生徒が多かった。 ・中堅学校としての活動や自覚は多くの生徒が身に付けてきた一方、こちらが求めるリーダーとしての意識が持っている生徒や、学校全体のことを視野に入れた行動ができる生徒はまだごく一部である。	A	中堅学校としてインターンシップや修学旅行と行事が沢山あったと思うが、次年度は本校の最上級生としてリーダーシップを発揮できるように指導していただきたい。
		基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る		A					
		基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る		A					
		基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る		B					
第3学年	基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る	基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る		A	A	A	・集会においては、各クラス代表の支持がよくできていたように感じている一方で、それ以外の生徒の意識が確立できていない場面も多少はあった。 ・年度当初より、進路に対する意識付けを機会を捉えて行ってきたが、不十分な点も感じられる。やはり入学当初からの意識付けが必要であらう。	A	学校満足度アンケートでは保護者・生徒ともに高い満足度の実績があるが、次年度以降の3年生も本校で学んでよかったと思っていただけのような指導をお願いしたい。
		基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る		A					
		基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る		A					
		基礎学力の定着および学力の向上を図り、3年後に向けての進路の高揚を図る		B					

工業教育	魅力ある学科、得意技コース制の活性化を図る。	学科の教育内容の充実を図るとともに、得意技コース制の特色を活かし幅広い知識を身に付けさせる。	得意技コース選択について ・コース選択で参考となったもの 工業技術基礎係1: 6% 希望進路先3: 3.8% ・満足度 大満足13. 2% 満足80. 9%	A	A	A	・得意技コース制について、3回の希望調査を実施した。担任の先生方の協力もあり、円滑にコース選択決定が出来たことは大満足だった。 ・テクノボランティアを推進しているが、次年度は、今年度以上に内容を充実させ、さらに地域や中学校に対して情報を発信する必要がある。 ・ジュニアマイスターの申請について年々減少しているように見える。ジュニアマイスター・撮影を一つの動機に資格取得やものづくり大会に意欲的に取り組む姿勢を養うことも必要である。 ・工業高校教員研修会においては、200名近くの県の工業高校の先生方に参加していただいた。会場である九州産業大学の協力もあり問題なく実施でき盛況に終わったことは大変良かった。	A	本校の生徒達には、これからの少子高齢化となる日本において次世代のものをつくりのスペシャリストとなれることを期待している。そのためにも先生方をはじめ学校には、各学科の魅力ある取り組みを前面に出してものづくりに積極的に取り組んでいただきたい。
		産学習連携事業など専門教科の学習を通して職業観・勤労観を養い、実社会で生きる力を育成する。	テクノボランティアを充実させ、地域との連携を深めるための施設設備の充実を図る。	テクノボランティアについて ・1年班に対してのテクノボランティアの認知度 知っている7. 4% 知らない92. 6% ・特にしたいことはの間にないとの回答が多かったが、中には専ら知識を生かして地域に貢献したいとの回答もあった。	A				
		テクノボランティア、地域や中学校へのPR活動を推進する。	出前授業や地域の活動等に積極的に参加し、最新情報を発信することで、学校のPRに繋げて行く。	学校満足度アンケート 教育環境は充実している 保護者94%	A				
		基本的な生活習慣の確立を図る。	5Sを意識させた挨拶や身だしなみ・時間厳守・提出物期間の厳守など指導を徹底する。 実習などの授業では、環境美化・環境整備に努め、規律や安全面の指導徹底を図る。 担任や保護者との連携を図り、家庭での規則正しい生活の啓発を図る。	学校満足度アンケートより 資格試験合格に向け、効果的な指導を充実していると思います。 保護者96.9%	A				
		資格取得・ものづくりの充実を図り、進路意識の高揚を図る。	各種検定試験において昨年度以上の合格率を目指す。 ものづくりを通して得た技術をもとに、テクノボランティア活動で地域貢献をする。 製図、実習、課題研究、ものづくりなどの活動を充実させ、進路意識の高揚につなげる。	学校満足度アンケートより 資格試験合格に向け、効果的な指導を充実していると思います。 保護者96.9%	B				
建築科	基本的な生活習慣の確立を図る。	5Sを意識させた挨拶や身だしなみ・時間厳守・提出物期間の厳守など指導を徹底する。 実習などの授業では、環境美化・環境整備に努め、規律や安全面の指導徹底を図る。 担任や保護者との連携を図り、家庭での規則正しい生活の啓発を図る。	学校満足度アンケートより 資格試験合格に向け、効果的な指導を充実していると思います。 保護者96.9%	A	A	A	安全に作業を行うように環境整備に努め授業を行った。その甲斐もあり今年度は大きな生徒もなく取り組めた。また、担任と連携を密にし生徒の情報共有を行うことで生徒の基本的な生活習慣の確立を図ることができた。資格取得は、昨年度と比較すると決して合格率が高くなったとは言えない。次年度は合格率が上昇するように職員一丸となり資格取得の指導に取り組んでいきたい。 製図や課題研究などものづくり活動を充実し、進路意識向上を図ることができた。	A	本校の根幹となる学科でもあるので教育環境のさらなる充実を目指しものづくりに取り組んでほしい。資格取得にも励んでいける環境づくりも行っていたいただきたい。
		資格取得・ものづくりの充実を図り、進路意識の高揚を図る。	各種検定試験において昨年度以上の合格率を目指す。 ものづくりを通して得た技術をもとに、テクノボランティア活動で地域貢献をする。 製図、実習、課題研究、ものづくりなどの活動を充実させ、進路意識の高揚につなげる。	学校満足度アンケートより 資格試験合格に向け、効果的な指導を充実していると思います。 保護者96.9%	B				
		基本的な生活習慣の確立を図る。	5Sを意識させた挨拶や身だしなみ・時間厳守・提出物期間の厳守など指導を徹底する。 実習などの授業では、環境美化・環境整備に努め、規律や安全面の指導徹底を図る。 担任や保護者との連携を図り、家庭での規則正しい生活の啓発を図る。	学校満足度アンケートより 資格試験合格に向け、効果的な指導を充実していると思います。 保護者96.9%	A				
		資格取得・ものづくりの充実を図り、進路意識の高揚を図る。	各種検定試験において昨年度以上の合格率を目指す。 ものづくりを通して得た技術をもとに、テクノボランティア活動で地域貢献をする。 製図、実習、課題研究、ものづくりなどの活動を充実させ、進路意識の高揚につなげる。	学校満足度アンケートより 資格試験合格に向け、効果的な指導を充実していると思います。 保護者96.9%	B				
		基本的な生活習慣の確立を図る。	5Sを意識させた挨拶や身だしなみ・時間厳守・提出物期間の厳守など指導を徹底する。 実習などの授業では、環境美化・環境整備に努め、規律や安全面の指導徹底を図る。 担任や保護者との連携を図り、家庭での規則正しい生活の啓発を図る。	学校満足度アンケートより 資格試験合格に向け、効果的な指導を充実していると思います。 保護者96.9%	A				
環境デザイン科	人形形成と資格取得に取り組む、より良い進路実現が果たせるように努める。	人形形成と資格取得に取り組む、より良い進路実現が果たせるように努める。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	B	A	A	・工業人としての礼儀、マナーと社会で必要となる資質や能力についての社会性が広がる指導を行ってきた。しかし、学校生活アンケートの回答を見ると、社会人に向けて環境正しい生活ができていないかの質問で保護者は1割、生徒は2割程度「そう思わない」との回答がある。次年度はこの結果を活かし、なぜ、ルールやマナーを守る必要があるのかという点を重点的に指導を行い生徒の成長に期待する指導を行っていく。 ・少数ではあるが、授業アンケートで「授業が分かりづらく学習意欲が持たない」との回答がある。生徒が主体的に学習に取り組める環境構築が急務だと考えている。その実現に向けて次年度は、資料取組の進め方を見直し、生徒がより主体的に取り組める多様な事にチャレンジし、やりい環境づくりを行っていく。	A	工業人として必要な基礎基本をしっかり身に付けさせるとともに、マナーやモラルを守る必要性を生徒たちにつかり指導を行ってほしい。また、新しい事にチャレンジする精神も鍛えてほしい。
		人形形成と資格取得に取り組む、より良い進路実現が果たせるように努める。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	A					
		人形形成と資格取得に取り組む、より良い進路実現が果たせるように努める。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	A					
		人形形成と資格取得に取り組む、より良い進路実現が果たせるように努める。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	A					
		人形形成と資格取得に取り組む、より良い進路実現が果たせるように努める。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	A					
機械科	生徒が社会に出た際に困らないような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。	生徒が社会に出た際に困らないような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	B	A	A	・生徒の卒業後の進路を考慮し、常に生活習慣や礼儀作法を意識するように指導を行ってきた。少しずつではあるが生徒も状況に応じた対応ができるようになってきたと感じている。次年度も継続して取り組むたいと考えている。 ・今年度は、資格取得や進路指導と関連付けて各科目の指導に取り組んだ。次年度は、指導する側において全学年・全科目においてこれらの意識を持ち取り組める体制作りを行いたいと考えている。	A	資格取得は学習活動に取り組むための一つのきっかけとなると考えているので、今後も、生徒の学習意欲向上のために資格取得、授業、進路目標と3つを関連付けた教育活動をお願いしたい。
		生徒が社会に出た際に困らないような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	A					
		生徒が社会に出た際に困らないような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	A					
		生徒が社会に出た際に困らないような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	A					
		生徒が社会に出た際に困らないような、生活習慣や礼儀作法を身につけさせる指導を行う。	学校満足度アンケートより 規則を守り、社会人に向けて規律正しく生活していると 思います。 保護者90.5% 生徒81.8%	A					
電気科	基本的な生活習慣を確立し、規則を遵守する態度を育てる。	基本的な生活習慣を確立し、規則を遵守する態度を育てる。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	B	A	A	・「あいさつ」を含めた規律の重要性を理解する生徒は増えた。次年度は、社会人としての基本的な姿勢を身に付けさせていきたいと考えている。 ・電気科として重要視する資格については、クラス一丸となつての取得意欲を養成することができた。次年度は、上級資格への挑戦意欲の向上をさらに図る。	A	電気科として重要視する上級資格が電気科全員が取得できるように資格指導の重点化を図っていただきたい。
		基本的な生活習慣を確立し、規則を遵守する態度を育てる。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	A					
		基本的な生活習慣を確立し、規則を遵守する態度を育てる。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	A					
		基本的な生活習慣を確立し、規則を遵守する態度を育てる。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	A					
		基本的な生活習慣を確立し、規則を遵守する態度を育てる。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	A					
材料技術科	基本的な生活習慣の確立を図る。	基本的な生活習慣の確立を図る。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	B	A	A	・服装や礼儀、挨拶、5S活動の徹底は、工業人として活躍する社会人としては必要不可欠な要素だと考えている。工業人育成の観点からも、この取り組みは、次年度も継続して取り組んでいきたいと考えている。 ・生徒の学習力向上を図るためには、先生方の授業改善が必要不可欠である。そのために生徒の個々の状況把握は大切である。学科全体で生徒の学習面や生徒個人の特性等の情報共有を行い生徒のさらなる基礎学力向上に努めていきたい。また、次年度は、希望進路の実現に向けてならびにジュニアマイスター受賞を目標に、人柄的にも成長できる環境づくりを行っていくと考えている。	A	基本的な生活習慣の確立は社会人として必要不可欠だと感じている。次年度も引き続き指導をお願いしたい。また、先生方の授業力向上も図っていただきたい生徒の学習意欲向上につなげていっていただきたい。
		基本的な生活習慣の確立を図る。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	A					
		基本的な生活習慣の確立を図る。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	A					
		基本的な生活習慣の確立を図る。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	A					
		基本的な生活習慣の確立を図る。	学校満足度アンケート 資格試験に向けた、効果的な指導 保護者: 96.9% 生徒: 94%	A					

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

・進路指導の充実と3年間を見通したキャリア教育の構築：生徒の進路実現に向けて、3年間のキャリア教育を確立させ浮羽工業高校で学んでよかったと思えるシステム作りを行う。 ・基礎学力の定着と資格取得の推進：資格取得の充実と基礎学力の向上。基本的な生活習慣と社会性の確立を目指した指導の徹底を図る。 ・専門高校の魅力発信と広報について：学校ホームページやSNS等のあらゆる手段を使い専門高校としての魅力ある学科づくり・学校づくりを行う。 ・政治教育の充実：若者の政治離れを防ぐために限りある時間ではあるが政治教育を行っていく。 ・学習環境の整備：生徒が学習意欲が高められるような環境づくりを行っている。
--

学校関係者評価	
評価(総合)	自己評価は
A	A: 適切である
	B: 概ね適切である
	C: やや適切でない
	D: 不適切である
評価項目以外のものに関する意見	
入試倍率について機械電気系は充足しているようだが、建設系が苦戦を強いられるように感じる。この建設系について次年度以降は、志願倍率が上がるような取り組みを行っていただけることを期待している。	